

46 病院でのボランティアの取り組み

病院機能向上委員会 小委員会 白坂康俊（第二機能回復訓練部）、飯塚真理（医療相談開発部）
大畑秀央（第二機能回復訓練部）、木内玲子（5階病棟）、倉持房子（医事管理課）
中西勉（第三機能回復訓練部）、別役訓子（第一機能回復訓練部）

はじめに

これまで、当センター病院では、病棟単位でのボランティアによる活動はなされていたが、広く、入院および外来患者さま全体を対象とした公演などはなされていなかった。

今回、平成 18 年度の病院機能評価を契機に、計 6 回のボランティアによる公演を実施したので報告する。

1 経過

平成 19 年 3 月 病院機能評価受審 ボランティアに関するワーキンググループ設置

平成 19 年 4 月 病院機能向上委員会存続 ボランティアに関する活動継続を決定

平成 19 年 5 月頃 日大芸術学部より芸術療法の考え方で公演について申し入れ

平成 19 年 7 月 一連のボランティア公演の最初の公演を開催

2 活動内容

①日大芸術学部芸術療法公演（第一回～第三回）

目的：患者さま、障害を持つ方の QOL を向上させ、かつ芸術療法のリハビリテーション・ケアにおける効果を検証する。

対象：第一回は入院患者さまとご家族、支援する方々。第二回以降 外来患者さま、更生訓練所利用者さま、ご家族、支援する方々に拡大

会場：講堂

学生ボランティア：移動や公演中の安全確保や介助のために学生ボランティアが参加

第一回

期日：平成 19 年 7 月 21 日（土曜日） 午後 14 時から 14 時 45 分

内容：音楽中心の催し

参加者：患者さまとご家族 50 名

学生：学院 1 年生 9 名、2 年生 5 名、日本福祉教育専門学校 2 名、臨床福祉専門学校 13 名

第二回

期日：平成 20 年 2 月 23 日（土曜日） 午後 14 時から 15 時

内容：演劇中心の催し

参加：患者さまとご家族 60 名

学生：学院 1 年生 11 名、2 年生 8 名

第三回

期日：平成 20 年 7 月 5 日（土曜日） 午後 14 時から 15 時 15 分

内容：映像と音楽と演劇（寸劇）

参加：患者さまとご家族 40 名

学生：学院 ST 課程 2 年生 2 名、RB 課程 2 名、帝京平成大学 7 名、臨床実習生 5 名

② バイオリンコンサート

演奏：大島莉紗（バイオリン） 伴奏：マーティン・カズン（ピアノ）

期日：平成20年4月1日（火曜日） 午後4時15分から5時45分

参加者：入院および外来患者さま、更生訓練所利用者さま、ご家族および支援者

参加人数：120名

③ 声楽コンサート

演奏：小里 明子（メゾソプラノ） 伴奏：関 裕子（ピアノ）

期日：平成20年8月13日（水曜日） 午後3時から4時15分

参加者：入院および外来患者さま、更生訓練所利用者さま、ご家族および支援者

参加人数：90名

④ フルートコンサート

演奏：中野 富雄（フルート） 伴奏：加藤 識実（ピアノ）

期日：平成20年8月29日（金曜日） 午後3時から4時15分

参加者：入院および外来患者さま、更生訓練所利用者さま、ご家族および支援者

参加人数：90名

3 意義と成果

- ・患者さま、利用者さまのQOL向上
- ・地域・社会の健全者との連携
アーティスト、ボランティア学生、地域住民の皆様
- ・地域・社会の健全者との交流
- ・地域や社会における障害の理解
- ・国立障害者リハビリテーションセンターや病院に関する理解

4 今後の課題

- ・意義や効果の立証
- ・ボランティア受け入れのシステム整備
規定が必要、委員会や個人の対応には限界、各部署の協力体制を

まとめ

- ・平成19年7月より平成20年8月までの間に、計8回、外部ボランティアによる異なる公演を実施した。
- ・病院入院および外来通院の患者さま、さらに更生訓練所利用者の皆様のQOL向上に寄与することができた。
- ・その他、地域・社会との連携や交流のみならず、真のバリアフリーへ啓発効果も期待できることが分かった。